

田んぼの学校活動報告～狩込みどじょっこ会～

活動月日	令和5年10月21日
活動内容	田んぼの学校～脱穀～
報告者	那須野ヶ原土地改良区連合



令和5年10月21日（土）午前中に、四区町環境保全会による田んぼの学校が開校され、脱穀体験が行われました。

この日の参加者は、約75名と非常にたくさんの方が参加してくださいました。

最初に、足踏み脱穀機や唐箕（とうみ）の使い方や注意事項の説明を受け、脱穀体験の開始です。

次に、足踏み脱穀機を使い、前回の体験で刈り乾燥させておいた稲からもみを取ります。足踏み脱穀機は、足でペダルを踏んでトゲトゲのドラムを回転させ、稲の先端を当ててもみを取る装置です。気を付けないと手が巻き込まれたりし、ケガをするかもしれないので、大人が両隣で補助しながら脱穀していきます。結構、力強く踏まないとうまく動かないので、子供たちも最初は苦戦していましたが、次第に慣れていったのか、楽しそうに脱穀作業を行っていました。

最後に、脱穀したもみは稲の葉や藁くずがくっついているので、唐箕（とうみ）を使い、もみとくず等を分別します。唐箕（とうみ）は、右側についてるハンドルを回すと中についている風車が回り、左側に風を起こします。そして、上からもみを入れることによって、くず等の軽いものは左側から出ていき、もみなど重いものは下に落ちていきます。脱穀したもみを全て分別し、作業終了となります。作業後は、恒例のおにぎりが配られ解散となりました。次回は、サツマイモ掘りや収穫祭を行う予定で今から非常に楽しみです。